

## 【報告書】令和6年度 愛知学泉大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスをもらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができました。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム ほか)	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課

## 【報告書】令和6年度 愛知学泉大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を掘り下げ、社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
9	その他	青少年センターとよた若者応援ネット「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センターとよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベントの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働くこと）等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流をしながら、キャリア形成を支援する事業を行った。	学生が自分の将来について考える機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリアン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(2) 附属機関委員・講師の派遣	食の安全・安心を語る懇談会	食の安全・安心に関し、市民、食品等事業者、学識経験者及び食品行政機関相互のコミュニケーションを図るとともに、市民各界の意見を行政の施策に反映し、効果的かつ円滑に施策を推進する。	豊田市食品衛生監視指導計画に基づく当市の取組結果及び今後の方針について、学識経験者としての意見を得た。	専門家としての貴重な意見を得たことにより、当市計画の質の向上が図られた。		保健衛生課
14	(5) 教育カリキュラム（授業）	旭地区ボランティア実習プログラム	旭地区を学外学習プログラムのフィールドとし、学生による地域活動への支援を実施	旭地区のまちづくり活動への参加（9団体に対して学生180名が参加）	高齢化の進むまちづくり活動の担い手として、地域活性化に寄与した。		旭支所

## 【報告書】令和6年度 愛知県立芸術大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスももらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができた。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム(ほか))	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課

## 【報告書】 令和6年度 愛知県立芸術大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を掘り下げ、社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
9	その他	青少年センターとよた若者応援ネット「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センターとよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベントの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働くこと）等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流をしながら、キャリア形成を支援する事業を行った。	学生が自分の将来について考える機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリアン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(1) 調査研究・アドバイス	部活動の地域移行に係る連携事業	部活動の地域移行に係る吹奏楽部地域指導者向け研修会の開催	・企画立案協議（9～1月） ・第1回研修（3月実施予定）	吹奏楽部地域指導者のモチベーションアップ及び技術指導力の向上に繋がった。	○	スポーツ振興課
14	(5) 教育カリキュラム（授業）	MIRAIへつなぐ「夢の教室」in豊田	トップアスリート等を夢先生として小学校へ派遣。夢を持つ大切さを伝える。	夢先生としての講師派遣 ・7/2 石野中学校 ・9/24 猿投台中学校 ・9/25 猿投台中学校	様々な職業の「夢先生」の考えに触れることで、子どもたちに夢を持つことや努力することの大切さが伝わった。	○	スポーツ振興課

【報告書】令和6年度 愛知県立芸術大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
15	(8) インターンシップ	豊田市美術館と愛知県立芸術大学との連携	学芸研修生の受入れ	将来、学芸員等の文化芸術分野での就職を志望する学生に対してインターンシップを通じて専門的な業務の一端を経験する機会を提供する。 【実績】 R6年度、4名の学生を受入れ	インターン修了生のなかには美術館に就職したり、新聞社の文化事業部の職に就いたりする学生がいる。また、美術館の学芸業務の一部を補助してもらうことで、学芸員の業務軽減にも寄与している。		美術館
16	その他	豊田市美術館と愛知県立芸術大学との連携	豊田市美術館と愛知県立芸術大学との連携	県立芸術大学は年度当初に負担金（25万円）を美術館へ前払いすることで、同大学の職員及び学生は観覧料を支払わずに観覧することができる。 【実績】 R6.4.1～.12.27 学生:166人、職員:15人	展覧会のPR及び観覧者の増加につながった。		美術館
17	その他	子ども向けアートイベント「こどもアート緑日」の開催	とよた市民アートプロジェクトが企画するイベントで、子どもたちがさまざまなアートに触れる機会を提供し、関心層のすそ野を広げる	こどもアート緑日の開催（8/3） ・学生参加者7名 （うちわデザインワークショップ） ・当日来場者372名	魅力的なワークショップを実施してもらったため、予想を上回る来場者となり、多くの子どもたちがアートに触れることができた。		文化振興課
18	その他	美容医療に関する注意喚起	学生の美容医療に関するトラブルを未然に防ぐため、周知を行う。	チラシ又はデータの提供	学生への注意喚起	○	健康政策課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスをもらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができた。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム ほか)	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を掘り下げて社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
9	その他	青少年センター とよた若者応援ネット 「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの 利用促進を図るとともに、メールマガジ ン等でボランティアや就活情報など様々 な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS 等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、 学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センター とよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、 他大学の学生間交流を促進するととも に、地域や企業、行政と連携しながら、 学生イベント企画運営や地域の課題解決 等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベン トの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の 定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用すること ができ、イベントを実施すること で青少年センターの賑わいにも寄 与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター 若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働 くこと）等若者の社会的課題から自立支 援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流 をしながら、キャリア形成を支援する事業を行っ た。	学生が自分の将来について考える 機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基 金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象 に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリ アン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基 金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金 制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	第1回 令和6年7月17日 第2回 令和6年11月19日 第3回 令和7年2月7日（予定）	専門的な知見を本市の施策に反映		産業労働課
14	(1) 調査研究・アドバイス	豊田市公共施設LED化整 備事業	豊田市内の公共施設照明をLED化する事 業	・事業者からの提案ヒアリング（9/19）	大学の知見を活用		環境政策課
15	(1) 調査研究・アドバイス	認知症カフェの活性化に 関する調査研究	市内認知症カフェの運営状況等をアン ケート等によって把握し、より良い認知 症カフェの運営に向けての提案を得る。	・市内認知症カフェへのアンケート・ヒアリング調 査 ・認知症カフェをより良い空間にするための現地で の実践（学生も参加） ・認知症カフェ向けの研修会の実施（2回）	・建築分野から見た「過ごしやす い空間にする」という新たな視点 と工夫をもらえた。	○	高齢福祉課
16	(1) 調査研究・アドバイス	愛知工業大学、北消防署 消防1課河川合同調査	愛知工業大学と連携し、河川調査（水 流、地形）を実施して水難救助活動の資 料とする。	河川データ収集の実施	河川データ抽出が完了した		(北)消防1課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
17	(1) 調査研究・アドバイス	豊田市スマート農業展示・講演会	展示会にラジコン草刈機の自動運転技術及びキャベツ収穫ロボットの展示	スカイホール大会議室で出展 2/7 (予定) 学生参加者数 10名(予定)	豊田市内農業者が、開発中のスマート農業用機器を知ることにより、スマート農業の可能性を感じることができた。また、学生にとっては、実需者と接することにより、現場の課題認識ができた。	○	農業振興課
18	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市環境審議会	1.環境基本計画に関する事、2.廃棄物の処理及び清掃に関する事、4.環境の保全及び創造に関する基本的事項を審議する付属機関	・専門部会3回(7/8、11/11、2/4) ・環境審議会2回(8/2、3/14(予定))	大学の知見を活用		環境政策課
19	(2) 附属機関委員・講師の派遣	指定管理者公募施設プレゼンテーション審査	指定管理者公募施設の業者選定のためのプレゼンテーション審査委員	指定管理者選定委員会(プレゼンテーション審査) 9/27	学識有識者の視点や知見を活かし、プレゼンテーション審査を実施することができた。		行政改革推進課
20	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市企業立地審査会	企業立地奨励条例の運用及び奨励事業所指定に関する審議	第1回 令和6年9月25日 第2回 令和7年3月19日(予定)	専門的な知見を本市の施策に反映		産業労働課
21	(2) 附属機関委員・講師の派遣	とよたイノベーションセンター推進協議会	とよたイノベーションセンターについて意見交換を行い、今後の施策展開に反映するための会議	・イノベーション推進協議会の開催(3/14)(予定)	専門的知見をとよたイノベーションセンターの施策に反映できた。		次世代産業課
22	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市開発審査会	都市計画法第34条第14号又は同法施行令第36条第1項第3号ホの規定に基づく付議案件の審議及び都市計画法第50条第1項前段の規定に基づく審査請求への裁決	開発審査会4回開催 (8/22、10/17、12/19、2/13(予定))	学識経験者の専門的見地からの意見を得ることができた。		開発調整課
23	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門分野の視点からの助言等を行い、都市計画案の是非を判断する。	都市計画審議会 第1回 令和6年10月30日 第2回 令和7年3月24日(予定)	公正かつ専門的な第三者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
24	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門分野の視点からの助言等を行い、都市計画面の是非を判断する。	都市計画審議会 第1回 令和6年10月30日 第2回 令和7年3月24日(予定)	公正かつ専門的な第三者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課
25	(2) 附属機関委員・講師の派遣	土地利用関連計画策定懇談会	土地利用関連計画の計画案等について、専門的な知識・知見に基づく意見をいただく	土地利用関連計画策定懇談会 第1回 令和6年8月20日 第2回 令和7年1月23日	それぞれの分野の専門的な知識・知見に基づく意見をいただき、計画の熟度が高まった。	○	都市計画課
26	(3) まちづくり・地域づくりと研究の連携	私立運営費補助金申請に係るプラットフォーム(PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の実施	運営会議12回の開催 (4/25,5/30,6/27,7/25,8/29,9/19,10/31,11/28,12/19,1/30(予定),2/27(予定),3/27(予定))	PF内での相互協力や共同による取組が進んだ。		経営戦略課
27	(3) まちづくり・地域づくりと研究の連携	デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業	FIA世界ラリー選手権を契機とした中心市街地の活性化を目的とし、開発したデジタルコンテンツを活用し豊田市の自動車産業をPR	・T-FACEA館2階にてラリー期間中4日間開催 ・延べ580人がコンテンツを体験	中心市街地の回遊性の向上につながった。	○	商業観光課
28	(4) 防災に関する協力・連携	防災士養成研修講座	防災士取得に向けた講座の開催	防災士の取得講座を実施 (9月28-29日/84名参加・内自主防災会員5名) (11月30、12月1日/109名参加・内自主防災会員5名)	大学教授等と連携し、防災の取得講座を実施。防災士機構が実施する講座より短期かつ安価で実施することができた		防災対策課
29	(4) 防災に関する協力・連携	とよた防災啓発推進協議会	協議会委員として協議会への参加・主催事業等への協力	・委員として協議会へ参加 ・【新規】親子で防災ネイチャーゲームに挑戦 2/22(予定) ・水害版・地震版マイ・タイムラインの作成支援 ・事例発表会への参加 ・豊田市デイズへの掲載協力	防災・減災対策において、専門的な知見や、学生目線を取り入れた啓発を行うことができた		防災対策課
30	(4) 防災に関する協力・連携	自主防災リーダー養成講座	地域の防災リーダーを養成するための講座を開催	豊田市自主防災リーダー養成講座の開催(9月7日/学生13名参加)	学生目線を取り入れたマイ・タイムラインの作成支援及び家具固定の講座を開催することができた。		防災対策課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
31	(4) 防災に関する協力・連携	出前講座（水害版マイ・タイムライン作成）	市内小中学校へ出前講座を実施	出前講座の実施（各日程学生4～6名講師として参加） ・6/21井上小学校 ・10/17巴ヶ丘小学校 ・11/13根川小学校 ・11/19高嶺小学校	小・中・高等特別支援学校に対して、マイ・タイムラインの必要性を周知し学生目線を取り入れた作成支援を実施することができた。		防災対策課
32	(4) 防災に関する協力・連携	出前講座（地震版マイ・タイムライン作成）	市内小中学校へ出前講座を実施	出前講座の実施（各日程学生4～6名講師として参加） ・5/24藤岡南中学校 ・7/11冷田小学校 ・9/25浄水北小学校 ・12/9東広瀬小学校	小・中・高等特別支援学校に対して、マイ・タイムラインの必要性を周知し学生目線を取り入れた作成支援を実施することができた。	○	防災対策課
33	(4) 防災に関する協力・連携	豊田市自主防災会連絡協議会事例発表会	豊田市自主防災会連絡協議会の事例発表会において、愛工大が自主防災会と連携した活動内容の報告	事例発表（11月30日／学生2名参加）	学生が取組む防災・減災活動の紹介と自主防災会との連携を図る事例発表を実施することができた。		防災対策課
34	(4) 防災に関する協力・連携	あいぼう会	産官学が連携し、企業防災力、ひいては地域防災力の向上につながる取り組みを推進	運営委員会、防災セミナー、BCP塾への参加	産官学が連携し、防災知識の習得、会員相互の交流及び研究活動を実施したことで防災力を向上することができた。		防災対策課
35	(4) 防災に関する協力・連携	客員研究員派遣	愛工大との連携による豊田市の防災・減災力向上に資する研究	・市防災に係る協議 ・客員研究員による意見交換	防災に係る知識の習得を図ることができ、本市の防災力の向上につながった。		防災対策課
36	(4) 防災に関する協力・連携	企業BCPの作成支援	市内企業のBCP作成等を支援するための手法等の提案と実施	・BCP作成セミナーを開催（9月～12月/入門コース、中級コース各4回） ・BCP作成セミナーフォローアップ講座を開催（2月）	防災・減災対策において、企業にBCPの必要性及び作成を行うことができた。		防災対策課
37	(5) 教育カリキュラム（授業）	担い手多様化促進事業	「国際ビジネス論」受講者への講義実施	講義「国際ビジネス論」において、市内で多文化共生に関する活動を行う団体・個人とともに講演を実施（12/18）	多文化共生分野で活躍する団体・個人による活動紹介を通し、学生の理解・関心を深めることができた。	○	国際まちづくり推進課

## 【報告書】令和6年度 愛知工業大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
38	(7) 学生の活動場所提供	とよたものづくりフェスタ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	子ども向けものづくりフェスに出展し、子どもたちにもものづくり体験を提供。	産業への興味喚起と参加者数の増加に貢献。		市民活躍支援課
39	(7) 学生の活動場所提供	とよたものづくりフェスタ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	子ども向けものづくりフェスに出展し、子どもたちにもものづくり体験を提供。	産業への興味喚起と参加者数の増加に貢献。		市民活躍支援課
40	その他	豊田市雇用対策協定運営協議会	雇用対策事業全般の円滑な運営のための協議	令和7年2月17日(予定)			産業労働課
41	その他	豊田市若者サポートステーション事業	引きこもりの若者の相談窓口、居場所の設置や職業体験を行う。また、家族や支援者向けの学習会等も行う。	悩み事を抱える学生が相談できる相談窓口のパンフレットを配布することで発信した。	学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
42	その他	図書の相互利用	図書館と連携大学が所有している図書の相互貸出	本の貸出8冊。借受0冊。	図書館の資料を学生の研究のために、有効活用してもらうことができた。		図書館管理課
43	その他	就職ガイダンス	学内での合同説明会(AIT業種・仕事研究フェア)への参加	令和6年12月7日(土)愛知教育大学でのAIT業種・仕事研究フェアに参加し、豊田市役所の仕事内容等について説明を実施。あわせて、市内企業のPRのために冊子の配布を行った。	地域への就職支援に向けて、豊田市役所及び豊田市内企業のPRを行うことで学生の理解を深めることができた。	○	人事課
44	その他	美容医療に関する注意喚起	学生の美容医療に関するトラブルを未然に防ぐため、周知を行う。	チラシ又はデータの提供	学生への注意喚起	○	健康政策課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスももらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができた。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム ほか)	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を振り下げて社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
9	その他	青少年センターとよた若者応援ネット「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センターとよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベントの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働くこと）等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流をしながら、キャリア形成を支援する事業を行った。	学生が自分の将来について考える機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリアン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(1) 調査研究・アドバイス	中央公園第二期整備事業	中央公園民間活力導入事業選定委員会	選定委員会（R6.7.26）	当該事業の公募に対し、専門的見地からの意見を反映できた。		公園緑地つくる課
14	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	第1回 令和6年7月17日 第2回 令和6年11月19日 第3回 令和7年2月7日（予定）	専門的な知見を本市の施策に反映		産業労働課
15	(2) 附属機関委員・講師の派遣	とよたシニアアカデミー講座	心に響く健康の話の伝え方（はじめの一步講座：全3回講座）	心に響く健康の話の伝え方講座の開催（11/8、11/22、12/6）	学識経験者としての専門的見地からの意見を得ることができた		市民活躍支援課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
16	(2) 附属機関委員・講師の派遣	講座の実施	図書館の資料（貴重資料）を活用した講座の実施	「紙以前のメディアと和装本の世界 和装本を修理してみよう」（2月23日）予定 所蔵する貴重資料の活用と、郷土への関心を促すことを目的に、講座を実施。	参加者が館内閲覧用の貴重図書に触れることができた。図書館の利用を促進し、講座に関連した図書資料の活用機会を増やすことができた。		図書館管理課
17	(2) 附属機関委員・講師の派遣	講座の実施	ティーンズ向けの講座開催	「日本の漫画・アニメの外国語翻訳から言葉や文化について学ぼう」（3月30日）予定	漫画という新しいテーマの講座を実施し、ティーンズ世代の利用に繋げることができた。	○	図書館管理課
18	(4) 防災に関する協力・連携	高校生消防クラブの運営補助	高校生消防クラブ員の運営を補助し、防火・防災リーダーを育てる。	カリキュラムの企画及び運営補助	大学生の防火・防災意識の向上につながった。		予防課
19	(4) 防災に関する協力・連携	キッズスペースの常設設置及び消防クロスワードの作成	豊田市防災学習センター内に常設するキッズスペースの企画提案及び学べる消防クロスワードを作成する。	・打合せ（4/19, 5/31） ・企画案調整及び物品選定（6月） ・キッズスペース及び消防クロスワード完成（7月末日） ・現地確認（9/2）	大学生の防火・防災意識の向上につながった。	○	予防課
20	(5) 教育カリキュラム（授業）	中京大学から教育現場へご提供できるコンテンツ	児童生徒向けの講演会並びに教員研修会の講師の派遣を実施する。	20回実施（予定）	小・中学校に専門的な知識や技能を生かした質の高い授業を実施することができる。		学校教育課
21	その他	講師ガイダンス	本市の教育の紹介および講師登録の方法を伝達	12名が参加	卒業後の進路選択の一つとして、豊田市への講師登録へとつなげることができた。		学校教育課
22	(1) 調査研究・アドバイス	部活動の地域移行にかかる連携事業	部活動の地域移行にかかる指導者研修プログラムの開発と実施	部活動の地域移行に係る地域指導者向け研修動画の作成協力、動画内容の検討及び講師として動画出演	職員の見のみでは作成ができなかった、「中学生の心身発達」及び「ハラスメントの防止」について、指導者が指導をする際に必要な知識となるようなことを動画化することができた。	○	スポーツ振興課
23	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市政顧問会議	市長と有識者による市政の重要事項を審議する付属機関	市政顧問会議 1回（1/30）（予定）	市政全般に関して専門的知見から意見をいただいた。		経営戦略課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
24	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市地域経営懇話会	行政改革の推進に関する審議等	地域経営懇話会1回（10/10）	大学の高度な知見を本市の施策に活用することができた。		行政改革推進課
25	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市企業立地審査会	企業立地奨励条例の運用及び奨励事業所指定に関する審議	第1回 令和6年9月25日	専門的な知見を本市の施策に反映		産業労働課
26	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市地域スポーツ推進連携事業	子どもの体力向上に向けて、豊田市スポーツ協会及び地域スポーツクラブと連携して、各種事業を実施する。	○走り方教室（対象：小学3年生） ・市内66校で開催（開催期間：4～12月） ○スタンプ教室 ・前期、後期ともに5教室開催し、延べ412人が参加	○走り方教室 専門分野で学んだ正しい知識や技能を小学生が楽しく学ぶことができ、実際に50m走のタイムが上がった児童も多くいた。 ○スタンプ教室 専門分野で学んだ正しい知識を基に教室を開催することができた。 また、学生にとっても、子どもたちに直接指導を行うことができる貴重な場となった。		スポーツ振興課
27	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市スポーツ推進審議会	・スポーツ推進の施策や事業等に関する審議 ・スポーツ施設の整備、計画等に関する審議	第1回審議会開催（8月） ・現行プランの振り返りと次期プラン策定に向けた意見交換 ・とよた地域クラブ活動プラン骨子（案） 第2回審議会開催（2月）（予定） ・次期プラン骨子（案） ・スポーツ施設整備方針（案） ・とよた地域クラブ活動展開プラン（案）	専門的な知見により、会議の円滑な実施や議論の深掘りを行うことができた。		スポーツ振興課
28	(2) 附属機関委員・講師の派遣	部活動の地域移行にかかる連携事業	こどものスポーツ・文化活動等に関する協議会への参加	第1回協議会（8月） ・部活動地域移行の方針 第2回協議会（1月、書面開催） ・地域指導者向け研修 第3回協議会（3月）（予定） ・部活動地域移行に関する計画	豊田市の部活動の地域移行プランの方針決定の一助となった。		スポーツ振興課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
29	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市感染症診査協議会	感染症患者の就業制限、入院勧告、入院期間の延長及び結核外来患者等の適正医療に対する公費負担申請などについて診査を実施する。	感染症診査協議会9回(4/10、5/29、7/31、8/21、10/30、11/27、2/5(予定)、2/26(予定)、3/19(予定))	結核患者等の適正医療に係る診査の実施		感染症予防課
30	(2) 附属機関委員・講師の派遣	教育委員	・教育委員会会議及び総合教育会議における審議 ・各種行事への出席 等	毎月開催の教育委員会議のほか、年14回各種公務への出席を依頼し、教育に関する諸課題についての意見をいただいた。	大学の知見を教育委員会議等の審議に活用		教育政策課
31	(2) 附属機関委員・講師の派遣	子ども読書活動推進ワーキンググループ	子ども読書活動推進のための意見交換	ワーキンググループの開催 (5月24日・10月4日・1月29日)	各課の子ども読書活動評価方法の見直しや、不足していた分野の指摘から新規サービスの案等を取りまとめることができました。		図書館管理課
32	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市社会福祉審議会	社会福祉に関する事項の調査審議	高齢者専門分科会 (R6.7.24) (R7.2.12(予定))	審議事項に関し、専門的見地からの意見をいただくことができています。		総務監査課
33	(3) まちづくり・地域づくりと研究の連携	私立運営費補助金申請に係るプラットフォーム(PF)形成	PFの中長期計画に基づく各取組の実施	運営会議12回の開催 (4/25,5/30,6/27,7/25,8/29,9/19,10/31,11/28,12/19,1/30(予定),2/27(予定),3/27(予定))	PF内での相互協力や共同による取組が進んだ。		経営戦略課
34	(3) まちづくり・地域づくりと研究の連携	地域スポーツ好循環コンソーシアム	関係団体(中京大学、トヨタ自動車、豊田市、豊田市スポーツ協会、地域スポーツクラブ会議、スポーツボランティアとよた)で構成される会議体で、地域スポーツの振興について検討	2月実施予定			スポーツ振興課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
35	(3) まちづくり・地域づくりと 研究の連携	豊田市わがまちアスリート	中京大学に在学するトップアスリートをわがまちアスリートとして認定し、市民一体となって応援し、スポーツへの関心を高める。	藤井萌夏選手（アーティスティックスイミング）を7月に豊田市わがまちアスリートに認定。	パリ2024大会出場に伴い、応援イベントの実施（街中装飾など）を実施し、市民が応援する気運醸成が図れた。		スポーツ振興課
36	(3) まちづくり・地域づくりと 研究の連携	とよたスポーツフェスティバル	豊田市わがまちアスリート等のPRを行うとともに、市民がスポーツに親しむきっかけを提供するイベントの開催	2月実施予定		○	スポーツ振興課
37	(3) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市地域保健審議会	地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議並びに健康増進その他保健に関する事項を調査及び審議を行う。	地域保健審議会委員を依頼 ※会議は都合により欠席	審議事項に関し、専門的見地からの意見をいただくことができた。		健康政策課
38	(5) 教育カリキュラム（授業）	MIRAIへつなぐ「夢の教室」in豊田	トップアスリート等を夢先生として小学校へ派遣。夢を持つ大切さを伝える。	夢先生としての講師派遣 (10/15,10/16,10/21,10/22,10/29,11/13,11/15)	様々な職業の「夢先生」の考えに触れることで、子どもたちに夢を持つことや努力することの大切さが伝わった。		スポーツ振興課
39	(5) 附属機関委員・講師の派遣	健康づくり豊田21計画推進委員会	「健康づくり豊田21計画（第四次）」を推進するにあたり、健康づくり活動の好事例や課題の共有、新たな施策等を立案するためのアイデアの検討	健康づくり豊田21計画推進委員会(R6.8.5) 市民・地域連携部会（R6.9.11） 合同部会（R7.1.14）	審議事項に関し、専門的見地からの意見をいただくことができた。	○	健康政策課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
40	(6) 公開講座の実施	中京大学スポーツ教室開催事業	子どもやその保護者を対象とした各種スポーツ教室の開催	ちびっこサッカー教室（小学校低学年クラス）をはじめ12教室46回を実施。（うち3回は1～2月に実施予定） 予定参加者数延べ668人	専門分野で学んだ正しい知識を基に教室を開催することができた。受講者する子どもに年の近い学生が指導に関わることで、子どもたちが運動への親しみを持つことができた。 また、学生にとっても、子どもたちに直接指導を行うことができる貴重な場となった。 市民への幅広い周知ができ、多くの市民が参加した。		スポーツ振興課
41	(6) 公開講座の実施	中京大学子どもスポーツフェスタ	子どもやその保護者を対象とした各種スポーツ体験会の開催	開催：11月 参加者数：約1,200組、約4,200人 スポーツ教室（事前申込み）11教室、スポーツ体験ブース17ブース、公共PRブース3ブース	市民へ幅広く周知ができ、多くの市民が参加した。 また、行政のPRの機会にもなった。		スポーツ振興課
42	(6) 公開講座の実施	認知症サポーター養成講座	認知症についての正しい知識と対応を学ぶ	認知症サポーター養成講座の実施(7/3) 中京大学（社会福祉課程2年）36名参加	認知症に関する理解啓発をすることができた。		高齢福祉課
43	(6) 公開講座の実施	中京大学子どもスポーツフェスタ	子どもやその保護者を対象とした食育講座の実施。地産地消と朝食摂取を図ったレシピを大学生が考案し、夢農人と連携し試食品を作成。	・打合せ（6/21） 実施（11/10） 参加者 人（子ども・保護者）	先生の講義により参加者への食育の知識普及と大学生による地産地消と朝食摂取の啓発ができた。夢農人と大学のコラボにつながった。	○	健康づくり応援課
44	(6) 附属機関委員・講師の派遣	健康づくり豊田21計画推進委員会	「健康づくり豊田21計画（第四次）」を推進するにあたり、健康づくり活動の好事例や課題の共有、新たな施策等を立案するためのアイデアの検討	健康づくり豊田21計画推進委員会(R6.8.5) 市民・地域連携部会（R6.9.11） 合同部会（R7.1.14）	審議事項に関し、若者世代からの意見をいただくことができた。	○	健康政策課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
45	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター レクリエーション指導者 派遣	子ども会等の活動を直接指導することで 団体活動の活性化を支援する。	申請のあった子ども会に対し、レクリエーション指 導者として訪問し、レクリエーション活動が実施さ れた。	子ども会だけではできないレク活 動を提供することで、子ども会も 活性化し、団体の活動機会も確保 することができた。		こども・若者政策課
46	(7) 学生の活動場所提供	とよたものづくりフェス タ(わくわくワールド)	ものづくり体験型イベント	子ども向けものづくりフェスに出展し、子どもたち にもものづくり体験を提供。	産業への興味喚起と参加者数の増 加に貢献。		市民活躍支援課
47	(7) 学生の活動場所提供	学生ボランティア	授業や学校行事等の支援を希望している 学校に対して、登録している学生を紹 介・派遣する。	30人が活動に参加	支援を希望する学校に学生を派遣 し、学校の教育活動の支援をする ことができた。		学校教育課
48	(7) 学生の活動場所提供	教育介護ボランティア	学校行事における障がいのある児童生徒 への支援を希望している小・中学校対 し、ボランティア活動の場を提供する。	45人が活動に参加	特別な支援が必要な児童生徒が、 安心安全に行事に参加できた。		学校教育課
49	その他	民生・児童委員の研修で の大学生による講話と実 践	保見地区の民生・児童委員の研修会に て、中京大生による①介護予防の健康講 座と体操②食育講座と調理実習を実施	・実施(8/9・9/13) ・参加者 19人(民生・児童委員) 5人(その他)	多世代間交流で健康づくりを学び あうことにより、講師となって啓 発する大学生のプレゼン力やコ ミュニケーション能力の向上と、 参加者のフレイル予防の啓発が効 果的に実施できた。	○	健康づくり応援課
50	その他	豊田市若者サポートス テーション事業	引きこもりの若者の相談窓口、居場所の 設置や職業体験を行う。また、家族や支 援者向けの学習会等も行う。	悩み事を抱える学生が相談できる相談窓口のパンフ レットを配布することで発信した。	学生に情報を届けることができ た。		こども・若者政策課

## 【報告書】令和6年度 中京大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
51	その他	豊田市トレヴェリアン基金留学生受入	英国・ロンドン国際留学生会館 (International Students House; ISH) に滞在している学生を対象に、中京大学と連携した日本留学プログラムを実施する。	英国ISHに滞在している学生2名を受け入れ、市内ホームステイや市内観光地案内のほか、中京大学における講義の受講や学生との交流を実施 (6/26～7/12)	英国からの留学生と本市との関係の深化及び市民・学生の国際交流機会の拡充につなげることができた。	○	国際まちづくり推進課
52	その他	図書相互利用	図書館と連携大学が所有している図書の相互貸出	本の貸出0冊。 借受0冊。			図書館管理課
53	その他	美容医療に関する注意喚起	学生の美容医療に関するトラブルを未然に防ぐため、周知を行う。	チラシ又はデータの提供	学生への注意喚起	○	健康政策課
54	その他	高校生へのオンラインによる食育授業の実施	食育（朝食摂取・野菜摂取等）に関する講義を大学生が企画し、高校生に栄養の理解を深め行動変容への意欲を高める。	杜若高校にて以下の実施 ・打合せ (9/6) ・実施 (10/3) 1学年創造クラス(151名)	大学生が健康づくりの発信者となることで大学生自身の学びと高校生の食育の健康宣言につながる効果的な実施ができた。	○	健康づくり応援課
55	その他	高校に文化祭ブースでの健康啓発	高校生の健康課題を受け止め、適正体重・運動習慣・捕食に関する健康啓発を大学生自身が企画・実施	杜若高校にて以下の実施 ・打合せ (9/6) ・実施 (9/26) ・ブース参加者99人 (生徒・教員・地域住民)	大学生が健康づくりの発信者となり高校生を含む地域住民・教員99名が健康ブースに参加し健康宣言ができた。	○	健康づくり応援課
56	その他	高校が主催することも食堂で大学生が運動習慣の講義を実施	杜若高校の主催することも食堂にて、中京大の学生が、参加者の小学生親子に運動の楽しさと習慣化の重要性を講話と体験で啓発を行う。	杜若高校にて以下の実施 ・打合せ (11/18) ・実施 (12/14) ・参加者17人 (子ども・保護者・教員・地域)	大学生と高校生が連携し、運動習慣の大切さを参加者に運動体験とともに啓発。子どもたちにとってのロールモデルとなり運動の楽しさが啓発できた。	○	健康づくり応援課

【報告書】令和6年度 日本赤十字豊田看護大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスももらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができた。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム ほか)	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課

【報告書】令和6年度 日本赤十字豊田看護大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を掘り下げて社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
9	その他	青少年センターとよた若者応援ネット「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センターとよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベントの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働くこと）等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流をしながら、キャリア形成を支援する事業を行った。	学生が自分の将来について考える機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリアン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(1) 調査研究・アドバイス	母子保健分野の調査研究	母子保健関連データの分析	乳幼児健康診査のデータを用いた統計・分析方法の助言	今後の乳幼児健康診査での児や保護者への支援の検討に繋がった。		こども家庭課
14	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市子どもにやさしいまちづくり推進会議	子ども総合計画に関すること、子どもに関する施策の状況に関すること その他子どもにやさしいまちづくりに関すること	子どもにやさしいまちづくり推進会議への出席（7/3、9/30）	学識経験者の立場より、専門的な知見での意見をいただいた。		こども・若者政策課

【報告書】 令和6年度 日本赤十字豊田看護大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
15	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市感染症診査協議会	感染症患者の就業制限、入院勧告、入院期間の延長及び結核外来患者等の適正医療に対する公費負担申請などについて診査を実施する。	感染症診査協議会10回(4/10、5/8、6/19、7/10、7/31、10/9、12/18、2/5、2/26、3/19) 予定	結核患者等の適正医療に係る診査の実施		感染症予防課
16	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市不良な生活環境を解消するための審議会	不良な生活環境に関する専門的な事項について、調査し、又は審議する	不良な生活環境を解消するための審議会(1回) 8/8	大学の高度な知見を本市の不良生活環境対策に活用することができた		環境保全課
17	(3) まちづくり・地域づくりと研究の連携	私立運営費補助金申請に係るプラットフォーム(PF)形成	P F の中長期計画に基づく各取組の実施	運営会議12回の開催 (4/25,5/30,6/27,7/25,8/29,9/19,10/31,11/28,12/19,1/30(予定),2/27(予定),3/27(予定))	P F 内での相互協力や共同による取組が進んだ。		経営戦略課
18	(3) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市地域保健審議会	地域保健及び保健所の運営に関する事項を審議並びに健康増進その他保健に関する事項を調査及び審議を行う。	地域保健審議会(R7.2.4(予定))	審議事項に関し、専門的見地からの意見をいただくことができた。		健康政策課
19	(5) 教育カリキュラム(授業)	「国際救援看護論」受講学生受入	「国際救援看護論」受講者の実習受入	学生に対し、本市が取り組む外国人市民に対する防災支援等について講義を実施(10/30)	地域防災について、将来、地域医療・防災を担う可能性が高い学生たちの理解・関心を深めることができた。		国際まちづくり推進課
20	(6) 公開講座の実施	高等教育機関公開講座	県内高等教育機関との共催による市民公開講座の開催	①令和6年9月10日「自分の歩行は大丈夫ですか？歩行スピードが遅いのは事故のもと。転倒は万病のもと」 ②令和7年3月10日「飲み込む力でおいしく長生き」	市民の方に専門的な講座を気軽に受講できる環境を提供できた。		市民活躍支援課
21	(8) インターンシップ	保健師の人材確保に向けた職業・職場の理解促進事業	保健師学生実習・インターンシップ受入れ 保健師1Day見学ツアー 各大学の座談会等への職員派遣 保健師採用ガイドブックの配布	保健師学生実習・インターンシップ受入れ 保健師1Day見学ツアー 座談会等への職員派遣 保健師採用ガイドブックの配布	保健師人材確保に資する事業の実施につながった。	○	健康政策課

## 【報告書】 令和6年度 日本赤十字豊田看護大学との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
22	その他	豊田市若者サポートステーション事業	引きこもりの若者の相談窓口、居場所の設置や職業体験を行う。また、家族や支援者向けの学習会等も行う。	悩み事を抱える学生が相談できる相談窓口のパンフレットを配布することで発信した。	学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
23	その他	図書の相互利用	図書館と連携大学が所有している図書の相互貸出	本の貸出0冊。 借受0冊。			図書館管理課
24	その他	就職ガイダンス	学内での就職説明会の実施	令和6年9月27日（金）日本赤十字豊田看護大学内にて保健師教育課程専攻学生向けに豊田市役所の仕事内容等について説明を実施した。	地域への就職支援に向けて、豊田市役所の説明を行うことで学生の理解を深めることができた。	○	人事課
25	その他	美容医療に関する注意喚起	学生の美容医療に関するトラブルを未然に防ぐため、周知を行う。	チラシ又はデータの提供	学生への注意喚起	○	健康政策課

## 【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
1	(1) 調査研究・アドバイス	包括連携協定の推進	包括連携協定を推進するため、連携協議会等を開催	・連携協議会2回(6/14、1/7) ・市長、学長・校長懇談会1回(2/17)(予定)	包括連携協定に基づく行政と大学等の連携関係の強化に繋がった。		経営戦略課
2	(1) 調査研究・アドバイス	大学・高専発 研究提案	大学・高専の知見や教員の研究成果を活用し、豊田市をフィールドとした調査・研究等の実施を通して、まちづくりの課題解決を図る	・提案3件(採択2件 ※下記①②) ①豊田スタジアムでの名古屋グランパス観戦を核とした豊田市のスポーツツーリズム推進事業(中京大学、スポーツ振興課) ②デジタルコンテンツによるラッピングデザインの展示事業(愛知工業大学、商業観光課)	大学・高専等の知見を活用した行政課題の解決に資する事業の実施に繋がった。		経営戦略課
3	(5) 教育カリキュラム(授業)	STEAM教育の視点を生かした地域の高等教育機関との連携	高等教育機関の力を借りながら小中学校の「総合的な学習の時間」における問題発見・解決的な学習活動を充実させる。	小清水小学校4年生の総合的な学習の時間において連携。小林教授の全体授業の他、学生によるグループ活動への個別支援も実施。(学生9人)	専門的な立場からアドバイスをもたらったことで、子どもたちが自信をもって活動できた。	○	学校教育課
4	(7) 学生の活動場所提供	青少年センター活動支援事業	青少年センターサロンや街中で青少年団体や若者グループ、高校・大学のゼミ活動やクラブ活動の表現機会の場を支援する。	青少年センターのサロンにて、各種作品やイベント活動を行う機会を設けた。	文化系のクラブやゼミの活動に対して発表の場の提供をすることができ、青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
5	(8) インターンシップ	基礎講座	教員を志望する学生と経験年数の浅い教員が情報交換したりする場を設定する。	4名が活動に参加	教員を志望する学生の意欲を高め、教職に対する理解を深めることができた。現場の教員にとっても、よい刺激となった。	○	学校教育課
6	その他	教員に対する地域、行政等との連携等に関する意向調査	6大学等の教員に対して地域、行政等との連携等に関する意向調査を実施し新たな連携機会の創出を図る	意向調査(43名の連携意向を確認)	調査結果の情報提供等によって新たな連携機会の創出に繋がった。	○	経営戦略課
7	その他	企業研究等に関する各種イベント	学生と企業の接点創出のための各種イベント(インターンシップ、座談会、アントレプログラム ほか)	・教員と企業担当者の学び合い事業の実施(11/5、11/11、12/5、12/23、1/24(予定)) ・大学生向け事業のチラシ送付	・学生への事業周知、参加勧奨 ・教員と企業担当者のネットワーク形成	○	産業労働課

## 【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
8	その他	学生によるまちづくり提案事業	学生の活動、視点を活かして、魅力あるまちづくりを進めるための提案	大学生等で構成する5団体が企画に関する講習を受け、それを踏まえて各グループの問題意識に沿った提案事業を実施。	学生が自らの問題意識を掘り下げ、社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
9	その他	青少年センターとよた若者応援ネット「プラス」	学生の活動拠点として青少年センターの利用促進を図るとともに、メールマガジン等でボランティアや就活情報など様々な情報を配信する	学生が役に立つような情報をメールマガジンやSNS等を利用して発信した。	メールマガジンやSNSを通じて、学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
10	その他	青少年センターとよた学生盛り上げ隊	まちづくりをテーマとした学生会議で、他大学の学生間交流を促進するとともに、地域や企業、行政と連携しながら、学生イベント企画運営や地域の課題解決等を行う	豊田市の魅力発見やまちを盛り上げるため、イベントの企画や運営を行った。学生約20名が、毎月の定例会議への参加や他団体との交流を行った。	学生の知見や意見を活用することができ、イベントを実施することで青少年センターの賑わいにも寄与した。		こども・若者政策課
11	その他	青少年センター若者応援事業	キャリア教育（社会に出る前の若者に働くこと）等若者の社会的課題から自立支援する事業を実施する。	転職など様々な経験を経た講師により、学生と交流をしながら、キャリア形成を支援する事業を行った。	学生が自分の将来について考える機会を提供した。		こども・若者政策課
12	その他	豊田市トレヴェリアン基金奨学生募集	英国で勉強・研究等をする学生等を対象に、奨学金を支給する豊田市トレヴェリアン基金奨学生を募集する。	県内大学等の学生に向けて豊田市トレヴェリアン基金奨学金制度を周知（募集期間：12/2～1/24）	県内大学等の学生に向け、奨学金制度を周知することができた。		国際まちづくり推進課
13	(1) 調査研究・アドバイス	水道水中の消毒副生成物対策事業	水道水中の消毒副生成物の低減化に向けた調査研究	浄水場及び水源での調査研究（4月～1月） ・調査に関する打合せ7回 ・上下水道局内で事業報告会（1/29）（予定） ・水道技術研究センター水道講座（12月）に共著者として掲載 ・学生の実験への参加（随時） 民間企業と市との協定に参画（6月） ・アドバイス3回（予定）	山間地域の浄水過程における消毒副生成物の発生解明及び低減化対策の検討に寄与した。		上水運用センター

## 【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
14	(1) 調査研究・アドバイス	「プロジェクトデザイン (環境都市工学創造ゼミ)」科目への協力	学生の自律、協働、創造の能力を養成するため、学生自らが地域の課題を提起し、解決策を立案するプロジェクトに対し、助言やデジタルツイン等の技術的なサポートを行う。	・学生が立案する課題解決策への助言 ・3DVRソフトによる課題解決策の作成補助 (参加学生3名)	・将来を担う若者に市役所の仕事や建設業界により一層の興味・関心を持ってもらう ・DX人材の育成	○	建設企画課
15	(2) 附属機関委員・講師の派遣	指定管理者公募施設プレゼンテーション審査	指定管理者公募施設の業者選定のためのプレゼンテーション審査委員	指定管理者選定委員会（プレゼンテーション審査） 9/30	学識有識者の視点や知見を活かし、プレゼンテーション審査を実施することができた。		行政改革推進課
16	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市産業振興委員会	産業振興及び産業支援に関する審議	第1回 令和6年7月17日 第2回 令和6年11月19日 第3回 令和7年2月7日（予定）	専門的な知見を本市の施策に反映		産業労働課
17	(2) 附属機関委員・講師の派遣	とよたイノベーションセンター事業	ものづくり中小企業を対象とした人材育成事業、技術相談の実施	5講座、合計55回開催 学生受講者15名	専門的知見を有した講師による講座を市内企業や学生に提供することで、人材育成に繋がった。		次世代産業課
18	(2) 附属機関委員・講師の派遣	とよたイノベーションセンター推進協議会	とよたイノベーションセンターについて意見交換を行い、今後の施策展開に反映するための会議	・イノベーション推進協議会の開催(3/14)(予定)	専門的知見をとよたイノベーションセンターの施策に反映できた。		次世代産業課
19	(2) 附属機関委員・講師の派遣	勘八公園整備事業	勘八公園整備事業民間活力導入検討業務委託選考委員会	選考委員会（R6.8.19）	学識有識者の視点や知見を活かし、選考を実施することができた。		公園緑地つくる課
20	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市都市計画審議会	都市計画審議会の委員として各専門分野の視点からの助言等を行い、都市計画案の是非を判断する。	都市計画審議会 第1回 令和6年10月30日 第2回 令和7年3月24日（予定）	公正かつ専門的な第三者の意見を踏まえて都市計画決定を行うことができた。		都市計画課
21	(2) 附属機関委員・講師の派遣	とよたサイエンスクラブI	中学生を対象に、実験やものづくりをしながら、科学や産業技術について学ぶ全6回の講座	子ども向け科学講座の実施。	子どもの科学への関心向上とリテラシー育成に貢献。		市民活躍支援課
22	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市奨学金審査委員会	豊田市奨学生の選考審査	豊田市奨学金審査委員会を開催（7/9）し、奨学生の選考を行った。	教育関係者としての知見を奨学生選考に活用		教育政策課
23	(2) 附属機関委員・講師の派遣	豊田市公共交通会議委員	豊田市公共交通に関する協議等	会議への参加（4回/年） 6/17,8/27,12/23（実績）,2/7（予定）	専門的な知見から施策への提案や意見をいただくことができた		交通政策課

【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
24	(3) まちづくり・地域づくりと 研究の連携	私立運営費補助金申請に 係るプラットフォーム (PF) 形成	PFの中長期計画に基づく各取組の実施	運営会議12回の開催 (4/25,5/30,6/27,7/25,8/29,9/19,10/31,11/28,1 2/19,1/30(予定),2/27(予定),3/27(予定))	PF内での相互協力や共同による 取組が進んだ。		経営戦略課
25	(4) 防災に関する協力・連携	とよた防災啓発推進協議 会	協議会委員として協議会への参加・主催 事業等への協力	・委員として協議会へ参加 ・【新規】親子で防災ネイチャーゲームに挑戦 (2/22実施予定) ・水書版・地震版マイ・タイムラインの作成支援 ・事例発表会への参加 ・豊田市デイズへの掲載協力	防災・減災対策において、専門的 な知見や、学生目線を取り入れた 啓発を行うことができた	○	防災対策課
26	(4) 防災に関する協力・連携	豊田市自主防災会連絡協 議会事例発表会	豊田市自主防災会連絡協議会の事例発表 会において、豊田工業高等専門学校が自 主防災会と連携した活動内容の報告	事例発表 (11月30日/学生2名参加)	学生が取組む防災・減災活動の紹 介と自主防災会との連携を図る事 例発表を実施することができた。	○	防災対策課
27	(5) 教育カリキュラム (授業)	次世代を担う地元学生へ の意識啓発プロジェクト	豊田工業高等専門学校の学生(40名程 度)を対象にした上下水道に関する授業 の実施	上下水道施設の施設見学 (7/12)	上下水道事業への関心・理解が深 まった。		(上下水)企画課
28	(5) 教育カリキュラム (授業)	「環境都市応用工学」授 業への出前講座	デジタルツインや先進技術を活用した道 路メンテナンスなどのインフラDXの取組 について学んでもらうことで、行政や建 設業界への興味・関心を喚起する。	・講義、意見交換 (1/10実施、受講者42名)	・将来を担う若者に市役所の仕事 や建設業界により一層の興味・関 心を持ってもらう ・DX人材の育成	○	建設企画課

【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
29	(6) 公開講座の実施	高等教育機関公開講座	県内高等教育機関との共催による市民公開講座の開催	<p>①令和6年6月22日、12月21日「遊びから学ぼう！ちっちゃなコンピュータでプログラミングと電子工作！」</p> <p>②令和6年8月2日「建物の耐震を実験からまなぶ」</p> <p>③令和6年8月2日「女子中学生のための機械工学科女子学生による講座（オリジナルマグネットの製作）」</p> <p>④令和6年8月5日「キカイ（機械）の仕組みを学ぼう！」</p> <p>⑤令和6年8月5日「重力の大きさを求めてみよう」</p> <p>⑥令和6年8月6、7日「マイコンロボットの製作とロボットコンテスト」</p> <p>⑦令和6年8月8日「いろいろな土の姿を見て、触れて、誰よりも防災スキルを高めてみよう」</p> <p>⑧令和6年8月8日「フィジカルコンピューティング入門」</p> <p>⑨令和6年8月8日「建設業に携わること」</p> <p>⑩令和6年8月9日「ものづくり体験記～七宝焼の製作～」</p> <p>⑪令和6年8月23日「高電圧直流（HVDC）送電って何？直流と高電圧の理解を深めよう！」</p> <p>⑫令和6年9月12日「夏目漱石『こころ』は時代を超える― 読者を惹きつける物語の構図 ―」</p>	市民の方に専門的な講座を気軽に受講できる環境を提供できた。		市民活躍支援課
30	(7) 学生の活動場所提供	とよたものづくりフェスタ（わくわくワールド）	ものづくり体験型イベント	子ども向けものづくりフェスに出展し、子どもたちにもものづくり体験を提供。	産業への興味喚起と参加者数の増加に貢献。		市民活躍支援課
31	(7) 学生の活動場所提供	とよたものづくりフェスタ（わくわくワールド）	ものづくり体験型イベント	子ども向けものづくりフェスに出展し、子どもたちにもものづくり体験を提供。	産業への興味喚起と参加者数の増加に貢献。		市民活躍支援課
32	(7) 学生の活動場所提供	交流コーナー滞留創出事業	交流コーナーの滞留を創出するためのハード整備及びソフト事業の展開	空間デザイン検討のための協議（8/9、9/2、9/19、9/30、10/11、11/8、12/2）、デザインコンへの開催（10/17-31）、及び、家具の設計及び製作（12/27及び2月未見込）	学識経験者としての専門的見地からの意見を得ることができた	○	市民活躍支援課

## 【報告書】令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
33	(7) 学生の活動場所提供	マンホールアップサイクルプロジェクト	アイシン高丘株式会社と共に、産学官が連携した使用済みの下水道用マンホール蓋について、新たな価値を与えて別の製品に生まれ変わらせる「アップサイクル(創造的再利用)」の有効性を検証する。	(学生参加者数：40名) ・ワークショップの開催(11回) ・市場調査の実施(12/9、1/21) ・製品企画コンペの開催(2/28(予定))	下水道事業のPRと豊田高専との関係性強化に繋がった。		(上下水)企画課
34	その他	溶融スラグのコンクリートへの有効利用に関する研究	渡刈クリーンセンターのごみ焼却時に発生する溶融スラグをコンクリートの材料の一部として有効利用するための調査研究	渡刈クリーンセンターのごみ焼却時に発生する溶融スラグをコンクリートの材料の一部として有効利用するための調査研究	溶融スラグの有効利用方法の拡大		清掃施設課
35	その他	若者によるまちづくり提案事業(WAKATTE)	豊田市の活性化や魅力発信に関する事業等、まちづくり提案を若者から募集し、実現をサポートする	採択された学生団体(NewVibeZ)が、就活をテーマにした企業と学生の交流会などの取組を実施。(豊田工業高等専門の学生6名が参加)	学生が自らの問題意識を掘り下げ、社会と関わる機会を提供するとともに、社会問題の解決に寄与する活動が展開された。		こども・若者政策課
36	その他	豊田市若者サポートステーション事業	引きこもりの若者の相談窓口、居場所の設置や職業体験を行う。また、家族や支援者向けの学習会等も行う。	悩み事を抱える学生が相談できる相談窓口のパンフレットを配布することで発信した。	学生に情報を届けることができた。		こども・若者政策課
37	その他	「安全・安心な水道水」のPR事業	水道水PRのための企画提案	・産業フェスタのイベント立案、事前レク、当日スタッフ参加(8名) ・水道水に関する意識調査についてアンケート調査を共同実施(7～8月)	学生のアイデアを既存の広報イベントに取り入れ、広報活動を充実させた。		上水運用センター
38	その他	図書の相互利用	図書館と連携大学が所有している図書の相互貸出	本の貸出0冊。借受0冊。			図書館管理課
39	その他	美容医療に関する注意喚起	学生の美容医療に関するトラブルを未然に防ぐため、周知を行う。	チラシ又はデータの提供	学生への注意喚起	○	健康政策課
40	その他	ラグビー部生徒への食生活講話及び健康チェック	ラグビー部生徒への食生活講話及び健康チェック(インボディ測定、血圧測定)	・11/19打合せ ・12/24講話及び健康チェック	講座を受けた生徒は、今後学んだことで生活習慣を変えたいと85%が回答	○	健康づくり応援課

【報告書】 令和6年度 豊田工業高等専門学校との連携実績

No.	分野	事業名	事業内容	連携内容	連携の効果	令和6年度 新規事業 (該当は○)	所属名
41	その他	家庭用ゲーム機器等を活用した地域介護予防活動支援事業	テレビゲーム等を活用した介護予防教室で、生徒をボランティアとして派遣し、ゲームの使い方の教授や多世代交流を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打合せ8/5</li> <li>・養成講座9/11</li> <li>・学生ボランティア参加（9/18、12/25）</li> </ul>	高校生及び参加者の高齢者は、多世代の交流ができ、通いの場の活性化につながった。また、高校生はコミュニケーション能力の向上につながった。	○	健康づくり応援課
42	その他	水道・下水道のPR事業	上下水道局の広報・広聴イベントでのPR活動	とよた産業フェスタ出展における「こどもが喜ぶ企画」の立案と運営 企画検討準備2回（9/26,9/27）7名 当日運営1回(10/6)8名	学生のアイデアを既存の広報イベントに取り入れ、広報活動を充実させた。	○	（上下水）総務課